

< 機械・農作業の共同化を実施している事例 >

## 活発な集落活動の維持、発展を目指す

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県周南市(旧新南陽市)・大谷			
協定面積 4ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交 付 金 85万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (52%)			
	役員・報酬・会議費			4%
	鳥獣害対策費			12%
	景観作物等関係費			18%
	その他(集落行事費等)			18%
協定参加者	農業者18人、非農家3人、			

### 2. 集落マスタープランの概要

高齢化・後継者不足が進行している当集落では、制度を活かし、非農家と連携し農道・水路の維持管理や景観作物の作付けを行うこととしている。

5年間の活動目標として、耕作放棄防止活動で鳥獣害対策を行い、多面的機能の増進・発揮活動として周辺林地の下草刈りや景観作物の作付けを非農家とともに行う。又、田植機を共同機械として位置付け、0.5ha以上実施を目標にしている。

#### [活 動 内 容]

##### 農業生産活動等

農地耕作・管理(4ha)  
個別対応

水路・農道の管理  
年2回(草刈り、清掃)  
共同取組活動

鳥獣害防止のための防護柵  
・わなの設置  
共同取組活動

##### 多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り  
(0.2ha、年2回)  
共同取組活動

景観作物作付け  
(コスモスを約0.1ha  
作付けた)  
共同取組活動

##### 農業生産活動の体制整備

機械農作業の共同化  
(田植機(リース)の共同  
利用0.2ha実施、目標0.5ha)  
共同取組活動

地場農産物の加工販売  
共同取組活動

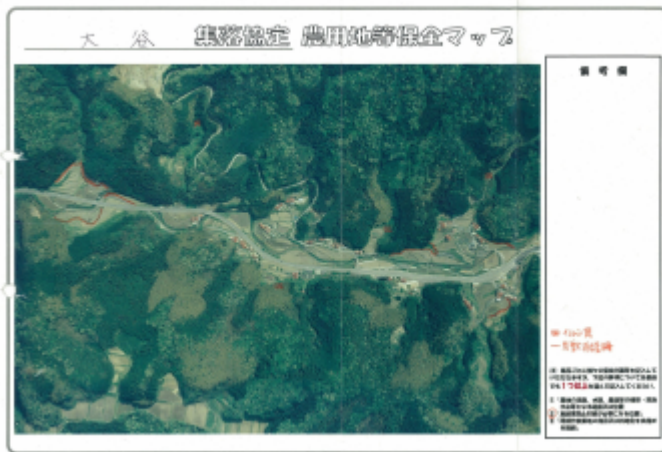
非対象農家・非農家を含  
む集落全員で水路農道の  
管理  
共同取組活動

### 3. 取組の経緯及び内容

当集落では、以前から集落の花見、盆踊り等の行事を活発に行っている。また、集落内の国道沿いに朝市（やまびこ店）を設置して集落内の野菜・加工品を通行する都市住民等に販売している。そうした中で当集落も高齢化が進み、集落行事や朝市の存続も危ぶまれ耕作放棄地の拡大が懸念されたため、第1期から集落協定を締結し活動を行ってきた。

第2期対策からは、集落で共同機械（田植機）をリースして低コスト化と耕作放棄地防止に取り組んでいる。また、鳥獣害の対策として狩猟のわな免許を取得した農家を中心に鳥獣害防止柵やわなの設置を推進している。さらに、非対象農家・非農家を含む集落集落全員で水路・農道水路の管理活動も実施している。

#### 農用地等保全マップ



#### 【マップの解説】

鳥獣害防止柵の範囲やわな設置場所を表示している。



鳥獣害防護柵の設置



集落全員での水路農道維持管理

#### [平成19年度までの主な効果]

鳥獣害防止対策（防護柵設置農地面積 1 ha、わな設置1箇所）

田植機の共同利用（当初 0 ha、目標0.5ha、実績0.2ha）

多面的機能の持続的発揮に向けた非農家等との連携（集落全員で水路・農道管理を年2回実施）